



2025年9月22日

各 位

株式会社東京証券取引所

## ETF市場の進化を支える新インフラ

### — ETF設定・交換プラットフォーム「CredNex」提供開始

株式会社東京証券取引所（以下、「東証」）は、ETF（上場投資信託）の設定・交換業務を支える新たなプラットフォーム「CredNex（クレドネックス）」を2025年9月29日に稼働させます。<sup>1</sup>

CredNexは、これまで日本証券クリアリング機構が提供してきた現行のETF設定・交換プラットフォームを刷新し、ETF設定・交換業務の自動化及び高速化を実現します。これにより、ETF市場の安定性と流動性が一層強化されることが期待されます。

#### ■ 背景と目的

ETF市場における設定・交換業務は、市場の流動性供給に直結する重要な役割を果たしています。投資家がETFを買った（売った）場合、流動性供給者（マーケットメイカー等）が設定（解約）を行うことで市場に流通するETFの量を増やし（減らし）ます。これにより、ETFは常に原資産価格を反映して売買が行われます。

従来のプラットフォームでは設定・交換業務に時間をして流動性供給が滞り、投資家が求めるタイミングで取引ができる状況が生じることが懸念されました。今後のETF市場のさらなる成長を見据えて、迅速な設定・交換業務を行うことができる環境を整備すべく、プラットフォームを刷新することといたしました。

CredNexは、こうした課題を解決するためユーザシステムとCredNex間の直結及び設定・交換申込を自動でチェックする機能等を提供することで、手動作業を大幅に削減し、分単位の時間を要していた従来の設定・交換業務を、数秒以内に大幅に短縮させることを可能とします。これにより、取引終了直前など、従来は流動性供給が難しかった時間帯で

---

<sup>1</sup> システムの稼働状況やユーザーの状態によっては、変更となる可能性があります。

も迅速に設定・交換が実行できることで、流動性供給者による価格提示が可能となり、取引時間全体を通じて安定した取引が行えるようになります。

### ■ 投資家の皆さまへの影響

CredNex は、設定・交換業務のプロセスを改善するだけでなく、この改善を通じて、上記のとおり安定した流動性供給を可能とすることで、投資家の皆さまがこれまで以上に「本来の価値に近い価格」で ETF を売買できる環境を実現します。具体的には、次のような変化を提供したいと考えています：

- ・取引機会の増加：流動性供給が安定することで、いつ、どんな注文を持つ投資家であっても、市場にアクセスすることで、売買したいタイミングで売買したい量をスムーズに取引することが可能となります。
- ・公正な価格形成の促進：流動性供給者による気配提示が促進されることで、投資家はより適正な価格での取引が可能になります。

今後、ETF 市場には、より多様で専門性の高い銘柄の登場が見込まれており、こうした市場の進化に対応するためには、設定・交換をはじめとした業務プロセス全体の効率化・高度化が不可欠です。

東証では、ETF 市場全体の最適化に向けた第一ステップとして、特に業務負荷が大きかった設定・交換業務の刷新に取り組みました。CredNex の導入によって、流動性供給者はより長時間・安定的な価格提示が可能となり、運用会社の業務負担も軽減されます。これにより、より多くの ETF 銘柄の上場が現実的となり、市場の拡大に向けた強固な基盤が整備されました。

東証は、CredNex を ETF 市場を支えるコア・インフラとして位置づけ、その機能強化と柔軟な運用を継続的に図りながら、ETF 市場の持続的な成長とエコシステムの発展に貢献してまいります。

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社東京証券取引所 株式部

03-3666-0141（代表）

ask-crednex@jpx.co.jp